

みんなのための政治を、とり戻す

自公・補完勢力 対 **市民と立憲野党** のたたかい

「市民の風」と道労連が共同アクション

10月6日、札幌駅南口で「戦争させない市民の風・北海道」と道労連がよびかけた「みんなのための政治を取り戻そう。1006札幌駅前アクション」がおこなわれ、100人が参加して市民と立憲野党の共闘で政治を変えようと市民にアピールしました。

最初にスピーチした「戦争させない市民の風・北海道」共同代表の川原茂雄さんは「この北海道で市民と野党の共闘が実現し、12の選挙区すべてで統一候補が実現したことは画期的だ。この2週間、野党共闘を分断しようといううごきもあったが、また戻すことができた。これまで2年間、立憲主義と民主主義を守るたたかいを積み上げ、市民と野党の共闘によって信頼と絆を深めてきたことが大きな力になった。統一候補の勝利で安倍政権を終わらせよう」と訴えました。

続いて道労連の黒澤幸一議長は「今度の選挙は改憲勢力対市民と立憲野党のたたかいだ。自公とその補完勢力を絶対に勝たせない、そのために小選挙区すべてで勝利しよう」と決意を述べ、「安倍関連法に反対するママの会@北海道」など参加者が次々とスピーチして、安倍政権を退場させる決意のあふれる共同行動になりました。

釧路地域支部が「トラックの日」宣伝行動

10月9日の「トラックの日」に、釧路地域支部は5人の組合員の参加で、白糠町の道の駅「恋問(こいとい)」と「馬主来(はしくる)」の駐車場で宣伝行動をおこないました。この日は祭りと重なり霧雨という悪天候もあってふだんの日より駐車するトラックの台数が少なかったため、トラック部会の子ラシ入りのティッシュペーパーを渡して呼びかけることができたのは12台のトラックドライバーでしたが、今後につながる行動となりました。

札幌学童保育支部が「無期雇用化」求め要求書

札幌学童保育支部は9月27日、「さっぽろ青少年女性活動協会」あてに、地域パートスタッフなどの無期雇用化を求める要求書を提出しました。なお、地域パートスタッフの時給が10月1日から引き上げられ、800円から840円になりました。また、正規職員の寒冷地手当について10月4日に妥結しました。支給額は前年同額(扶養親族のいる職員116,800円、その他の世帯主である職員65,300円、その他の職員44,000円)です。

なくせじん肺キャラバン 道内11監督署に要請

10月6日、なくせじん肺キャラバンの労働基準監督署への要請行動がおこなわれ、札幌中央・札幌東・小樽・函館・室蘭・苫小牧・岩見沢・滝川・旭川・帯広・釧路の11署に要請しました。